

# とす 市議会だより

第146号

平成23年2月1日

笑顔ひろがる文化・交流・共生の都市

編集発行 鳥栖市議会  
鳥栖市宿町1118  
電話85-3525



## 勇壮、華麗な技

消防出初式では、古式消防はしご乗り、五色放水などが行われ、多くの観客を魅了しました

12月  
11月  
月  
定例市議会  
臨時  
市議会

議長裁決で一般会計補正予算原案を可決

音楽祭予算のあり方に議論

平成21年度決算を認定

一般質問 ...5~9  
17人が質問

- ◆主な事業と予算額……………③
- ◆付議事件と議決結果……………③
- ◆常任委員会審査報告……………④
- ◆11月臨時会……………⑨
- ◆意見書・陳情……………⑩
- ◆議会日誌・編集後記……………⑩

# 12月定例会

12月定例会は、12月1日から12月17日まで開かれ、市長提出議案26件、議員提出議案4件の審議のほか、17人の議員が一般質問を行いました。

## 音楽祭の目的とは

今定例会では、一般会計補正予算のうち、新規事業の音楽祭の予算について、議案審議や一般質問の中で多くの議論がありました。

本会議の審議の中で、音楽祭の目的、新幹線開業が契機である必要性、時期の問題などについて質疑がありました。それに対し「この音楽祭については、文化的な役割、目的、教育的な意義ということが大変大きいという認識があり、教育予算に計上した」「交流の促進、まちの魅力発信さらに知名度を上げる、そういう地域振興的な要素がある」、音楽祭の目的としては「教育的な役割と地域振興的な役割がある」、時期の問題については、「地域振興的な役割も持っていることを考えると、3月の新幹線開業という大変重要な行事に合わせて行う

ことで、この音楽祭の目的がより一層発揮される」などの答弁がありました。

## 委員会では修正案を可決

付託された文教厚生常任委員会では、音楽祭委託料500万円を全額減額して予備費に回し、債務負担行為を削除する修正案が提出され、可決されました。

## 議長裁決で原案を可決

本会議の討論の中では、「23年度予算編成要領には、市長の改選期に当たることから、当初予算は骨格的予算として編成するもので、新規の政策的経費は、継続的な事業、緊急を要するものを除き、計上を保留し、市長選後の補正予算で行うもの」とするとあり、降つてわいた音楽祭は継続的な事業、緊急を要するものとは到底思えない」「もっとゆ

つくり時間をかけて、財源は大丈夫か、他の施策の財源との兼ね合いは大丈夫かなど、しっかりと見極めた上で、市民の理解を広げる努力をしながら、再度提案すべきである」などの意見が

## 追加事業などが計上

今回提案された補正予算は、補助事業については、今年4月に任期満了となる佐賀県知事、佐賀県議会議員の選挙に要する経費の一部、子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌のワクチン接種経費などが計上され、福祉・保育関係扶助費、認知症高齢者グループホームのプリンクラー等整備に要する経費、村田町住宅・平田線道路改良事業、新鳥栖駅周辺整備費等の追加事業費などが計上されました。単独事業としては、かんがい排水事業、農業用河川工作物応急対策事業、西田

ありました。採決では、修正案は可否同数だったため、議長裁決により否決、原案も可決同数であったため、議長裁決により可決されました。

川改修に伴う不動島線西牟田橋改良事業の県営事業負担金や九州新幹線鹿児島ルート建設に要する負担金などが計上されました。

## 第6次総合計画基本構想が提案される

今定例会では鳥栖市が目指す将来像とまちづくりの基本目標等を明らかにした第6次総合計画基本構想案が提出されました。その審査のために総合計画基本構想特別委員会が設置され9人の特別委員が選任されました。この構想案は特別委員会に付託され閉会中の継続審査となりました。

# 平成22年度 一般会計補正予算

## 補正額 4億1,568万1千円

既決予算との合計  
234億4,320万9千円

補正予算  
(今回)  
4億1,568万1千円

補正予算(前回まで)  
8億3,635万6千円

当初予算  
221億9,117万2千円

### 【主な歳入】

市税 1億7,000万円  
国県支出金 1億4,132万8千円  
繰入金 8,413万5千円

### 【主な事業と予算額】

- 知事・県議会議員選挙費 831万4千円
- 社会福祉法人施設整備補助金 633万4千円
- 障害者自立支援給付費 5,028万9千円
- 生活保護費 2,780万円
- 地域子育て創生事業 262万3千円
- 日本脳炎予防接種経費 1,785万円
- 子宮頸がん予防等ワクチン接種経費 4,959万9千円
- ため池災害防止事業 300万円
- 西牟田橋改良事業負担金 2,000万円
- 市営住宅被災復旧費 1,223万7千円
- 地方バス路線変更経費 103万円  
新鳥栖駅まで地方バスの運行ルートを延伸するためのバス設備改修とバスマップの作成経費
- 朝日山公園整備工事 260万円
- 新鳥栖駅周辺施設管理経費 298万1千円
- 新鳥栖駅周辺整備事業 2,336万9千円
- 九州新幹線鹿児島ルート建設事業負担金 1,076万7千円
- フッパル鳥栖ピアノコンクール事業 630万円
- 音楽祭委託料 500万円  
新鳥栖駅開業を契機とし、クラシック音楽祭を来年度開催するための準備経費
- スタジアム看板等整備補助金 630万円

議会人事	議員提出議案	市長提出議案	議案	件名	議決結果
総合計画基本構想特別委員の選任 「○中村直人、○小石弘和、成富牧男、古賀和仁、国松敏昭、藤田昌隆、江副康成、中村圭一、下田 寛」	議会運営委員の選任(○委員長、○副委員長、以下同じ) 「○中村圭一、○佐藤忠克、内川隆則、成富牧男、古賀和仁、国松敏昭、田中 稔」 議会運営委員会の閉会中の継続審査の件 朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることについての意見書(案) 子ども手当財源の地方負担に反対する意見書(案) 国松敏昭、田中 稔	環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加への慎重な対応を求める意見書(案) 尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件及びロシア大統領の北方領土訪問に対する国の毅然たる外交姿勢を求める意見書(案) 総合計画基本構想の改定について 教育委員会委員の任命について「西山恵二氏(古野町)」 指定管理者の指定について「社会福祉協議会を指定」 市道路線の廃止及び認定について「廃止1路線、認定6路線」	鳥栖駅東駐車場条例の一部改正 「駐車場の新設に伴い、条例を改正するもの」 公民館施設使用料条例の一部改正 「公民館施設の使用料を改定するもの」 コミュニティセンター条例の一部改正 「コミュニティセンターの使用料を改定するもの」 老人福祉センター設置条例の一部改正 「老人福祉センターの利用者の資格等を改正するもの」 まちづくり推進センター条例 「まちづくり推進センターの設置に伴い、条例を制定するもの」	平成21年度決算 下水道事業会計、特別会計(国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、農業集落排水、鳥栖駅東土地区画整理、新鳥栖駅西土地区画整理、産業団地造成) 平成22年度補正予算 一般会計 特別会計(国民健康保険、農業集落排水、鳥栖駅東土地区画整理、新鳥栖駅西土地区画整理)、水道事業会計、下水道事業会計	議決結果 原案可決(議長裁決) 原案可決(全会一致) 認定(賛成多数) 認定(全会一致)

## ◆12月定例会の付議事件と議決結果

# 常任委員会 審査報告概要

一般会計補正予算の委員会審査の概要は次のとおりです。(予算額は3ページ参照)

## 財政調整基金の今後

**総務課** 臨時職員の公務災害などについて質疑がありました。  
**財政課** 財政調整基金の今後の見込みなどについて質疑がありました。

**税務課** 固定資産税等の適切な課税システム、本年度税目ごとの収入見込み額、法人市民税の増額補正の要因、コンビニエンスストアの収納の利用状況及び今後の利用見込みなどについて質疑がありました。

## 新鳥栖駅周辺駐車場の整備

**建設課** 今後の国からの補助金減額の可能性と減額になった場合の本市への影響額、車路アパルト入居者の移転補償費の内訳及び用途廃止時期などについて質疑がありました。

## 建設

## 鳥栖音楽祭について

**社会福祉課** 債務負担行為の限度額の表示方法などについて質疑がありました。  
**健康増進課** 子宮頸がんの予防ワクチンの接種対象年齢とその決定理由及びそれ以外の学年に対する補助、予防接種の国の補助期間及びその後の対応などについて質疑がありました。

**文化芸術振興課** 歳入の補正予算計上の時期、音楽祭の収支予算書の具体的な内

## 都市整備課

新鳥栖駅経由バス路線の考え方及び新鳥栖駅を核とした路線の必要性、朝日山公園の維持管理などについて質疑がありました。  
**新幹線対策課** 新鳥栖駅周辺駐車場使用料、駐車場の整備などについて質疑がありました。



着々と整備が進む新鳥栖駅前



音楽祭のメイン会場となる予定の文化会館と中央公民館

## 残土処理委託の 処分先は

## 経済

**環境対策課** 残土処理委託における処分先等の状況、斎場光熱水費の増加要因などについて質疑がありました。

**農林課** 災害復旧に関する公共災害と単独災害の違い、小規模土地改良の改良箇所などについて質疑がありました。

**商工振興課** 大山祇神社地区の景観保全、佐賀県遺産認定地区の範囲、佐賀県遺産に対する県の補助金と補助金の使途などについて質疑がありました。



季節ごとに表情を変える大山祇神社

# 一般質問

17人の議員が一般質問を行いました。  
(掲載は、発言順ではなく、内容別です)

## これからのボランティア活動

質問 内川隆則議員

地域のつながり、隣近所との付き合いの希薄化等により地域のボランティアが多岐に求められるようになった。しかし、以前に比べ定年延長、年金の切り下げ等により、ボランティア協力が減少している事を受け、一定の手当が必要であると思うが。

■報酬等の支給、経費等の弁償に配慮したい

答弁 報酬等については、その業務の従事への対価として支給されるものと認識しており、業務内容等に応じ報酬等の支給を行っている

## まちづくり推進協議会について

質問 藤田昌隆議員

この度、まちづくり推進協議会立ち上げの準備が基里、田代、鳥栖北地区で行われている。この協議会の構成は区長会、老人クラブなど計30団体だ。目的と補助金額、人的支援はどのように、いつまでにと考えているのか。

■平成23年度設立に向けて各地区に働きかけている

答弁 「みんなで築く市民協働のまちづくり」を基本

る。

また、その活動に当たって、必要である経費などについても、一定ではあるが費用弁償を行っている。今後は、その活動状況などを踏まえて、各個別法の趣旨、条例等も勘案し、必要に応じて報酬等の支給や経費等の弁償に配慮したい。

その他質問 ◆自殺防止対策  
／新たなまちづくり

## 市長退職金廃止は続けるのか

質問 松隈清之議員

市長は自身の退職金廃止について「庶民感覚としては4年で2千数百万円の退職金は非常に解せない、理解不能である」と言われた。額はやや少なくなるが他にも退職金をもらう特別職はいるが、市長の退職金の考え方からすると支給することとは矛盾するのではないかと、自身の退職金の廃止は今後も継続するのか。

目標に、平成22年度を準備期間とし、平成23年度にまちづくり推進協議会を設立することで各地区に働きかけている。  
財政的支援として、現在、地域活動などに支出している補助金などを再編成し、その一部を協議会へ交付することを検討し、平成25年度導入を目標とし、使途に自由性を持たせた包括的交付金を検討したい。  
現在、設立準備会段階では、各地区に担当職員を2

名配置しているが、平成23年度から市役所内に専門の部署を設け、協議会発足後、各協議会へ担当職員を派遣し、支援・助言することを検討している。  
その他質問 ◆新幹線開業に合わせた短期・中期イベントの計画／難視聴地域におけるケーブルテレビ工事の進捗状況

■今ここで答えられる段階には至っていない

答弁 その他の特別職については、妥当な退職手当でなかるうかと思っている。規模の大小はあるが、他の市等々を見ても、それぞれの職責に応じた手当となっているのではないかとと思う。次回の選挙について、どういった公約を掲げるか今検討中であるので、今回の件について、今ここで答えられる段階には至っていない。

## 健康都市 元気都市へ向けて

質問 佐藤忠克議員

平成23年3月新幹線新鳥栖駅開業、平成25年春開業予定の九州国際重粒子線がん治療センターの誘致は、鳥栖市の更なる浮揚誘導施設としての期待はもとより、すべての生活者が願っており、がん罹患者、罹患者の願いでもある「健康都市」「元気都市」のシンボルとなる施設ととらえ、健康のまちを象徴する「がん撲滅宣言」「がん征圧宣言」あるいは「健康都市宣言」等の考えはないのか。

■市民に安心感を与え、市外へのPRになる

答弁 がん治療センター設置を契機として、健康都市宣言、がん撲滅宣言を行うことは、市民に安心感を与え、市外に向けてはセンターが設置されることの発信、PRにつながるものと考えており、健康都市宣言、より具体的ながん撲滅宣言も含め検討を深めたい。

その他質問 ◆合併／鳥栖市のビジョンなど  
その他質問 ◆行財政改革／地域福祉計画

### 県境を越えた サガン鳥栖支援を

質問 中村圭一議員

県境を越えて、クロスロード地域が一体となってサガン鳥栖を支えていくことが、クラブ自体の存続・繁栄にだけでなく、将来的には、クロスロード地域の真の広域連携・一体的な浮揚にもつながる。現在クラブの県境を越えた活動を制限しているJリーグ規約の改正を、「筑後川流域クロスロード協議会」として求めたい。

■要望活動に取り組むことは意義あること

サガン鳥栖はクロスロード地域においても、なくてはならない存在になっていると感じている。議員御提案のように、サガン鳥栖をクロスロード地域の宝として応援するために地域を挙げてJリーグの規約の改正や例外規定の要望活動に取り組むことは意義あることと考える。

その他質問 ◆学校給食／広域連携

### 幡崎踏切の 渋滞解消策は

質問 齊藤正治議員

地元区民の皆様から永年にわたり踏切の渋滞解消が要望され、2年前に県からループ橋案として整備案が出されようとしていたが、市が再検討の要請をされ宙に浮いたまま今日を迎えている。解決策はどのようなものか。早急な検討が必要ではないか。

■地元の声を十分聞きながら取り組みたい

■答弁 この区間については、旧長崎街道という歴史的、文化的地域であること、また、大型車両を含め多くの通過交通車両の流入による生活環境への懸念、ループ橋周辺の皆様の生活道路等への影響等、解決すべき課題、検討すべき課題、問題点も多々あり、慎重に検討しなければいけないと考えている。また国道3号鳥栖拡幅事業の進捗、新幹線開業に伴う在来線輸送体系の見直し等の状況も念頭に入



安良川の堤防から耳納連山を望む

### 美しい景色創出を

質問 光安一磨議員

自然環境を破壊する行為は、特段の配慮が必要であるが、景観的見地から安良川の景色は人為的事業改善が必要と思う。この堤防に手を加えるについては課題もあるかと思うが、植栽・植樹をし、美しい景観事業に取り組む考えはないか。

■危険な状況が想定され、植樹は実施していない

### 人にやさしい まちづくり(UD)を

質問 古賀和仁議員

公共の施設、交通機関においてユニバーサルデザイン(UD)がすべての人々に対し必要であると考えられておく必要があると思

っている。地元からは御要望も承っており、地元の声を十分聞きながら必要な措置に取り組みたい。

■大変理解するところであり、研究を進めたい

本市でも、佐賀県福祉のまちづくり条例や佐賀ユニバーサルデザイン推進指針に基づき、すべての利用者が利用しやすい施設整備に努めている。

UDマップの提案は大変理解するところであり、内容については、それぞれ障害者団体の方及び佐賀県等

■答弁 安良川の新鳥栖駅から鳥南橋までの区間は、佐賀県、国の管理区間となっている。築堤された河川に樹木を植栽した場合、将来、かたく固められた堤防に樹木の根が入ることで、堤防がやわらかくなり、梅雨期など増水した水が堤防に浸透すれば亀裂などが生じ、最悪の場合、堤防決壊という事態にもなりかねず、大変危険な状況が想定されることから、築堤された河川堤防への植樹は、現在、実施していない。

その他質問 ◆教育委員会制度／補助金、事業契約のあり方など

と協議をしながら、研究を進めたい。

その他質問 ◆人事院勧告及び報告／公の施設の管理運営

# 鳥栖音楽祭の 予算について

質問 森山 林議員

鳥栖音楽祭は、単なる文化振興の事業ではなく街の活性化をねらうまちづくりの手段であり、教育の予算にしたのはなぜか。市長の政策的な事業経費であり、まちづくり事業であることから、市長部局で取り組むのが相当と考えるが、どうか。また、市長の任期目前に債務負担行為としては償むべきでないのか。

## ■子供たちへの情操教育の場を創出する

**答弁** 今回予定している音楽祭は、新幹線の開業を契機にとらえ、他市に先駆け、将来を担う子供たちへの情操教育の場を創出し、そのすそ野を広げていくという、教育・文化行政が担う部分が大きいものであると考えており、この要素を核として、まちづくりなどにもつなげたいと考えている。  
文化行政は、子供たちへの情操教育という大きな要素を有しているので、現段階では、教育委員会を中心として取り組みたい。

# なぜ音楽祭を 新規事業としたのか

質問 下田 寛議員

音楽祭開催に向け、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭について滋賀県を視察し、素晴らしさを理解した。鳥栖市においては、マニフェスト未達成項目や市長選挙など、大きな課題が目前にある中、なぜ新規事業として提案されたのか、市長の見解を問う。

## ■新幹線効果を最大限に活用する観点で提案した

**答弁** マニフェストのいまだ検討中の項目について、実現を目指して引き続き取り組んでいくことが必要だと認識しているが、一方で時代の潮流に合わせて、時期に応じた実効性のある政策の展開も、効率的かつ効果的な市政運営を図る上で重要だと考えている。九州新幹線開業で九州に注目が集まるこの機会を最大限に生かす取り組みとして、本市で音楽祭を開催し、多くの来場者を呼び込むことは、鳥栖の存在を全国に発信するとともに、地域経済の活性化の起爆剤になるもの大いに期待している。

# 障害のある 児童生徒への支援は

質問 国松敏昭議員

「子どもたちにとって、どのように自立支援ができるのか」。今の学校教育現場における問題点をどのように認識し、把握されているか。特に障害のある児童生徒には、現在、どのような支援をなされているのか。

## ■障害に応じたきめ細かな教育を充実

**答弁** 障害のある児童・生徒の教育については、障害に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人が成長・発達し、能力・特性を最大限に伸ばすことができるよう取り組んできました。例えば、医療・福祉機関との連携を図り、早期教育相談等を実施し、適切な就学に向けての指導、通常の学級に在籍する児童のための通級指導教室による指導、特別支援学級生活指導補助員や

# 食育の現状は

質問 柴藤泰輔議員

食育は子どもたちの健康はもとより、体力向上、成績向上にもつながるが、子どもたちの食生活に関しては、栄養の偏り等改善すべき点が少ない。家庭で

都市も非常に開催を強く希望する音楽祭でもある。その中で九州で初めて、あるいは唯一という形を逃すことは、非常に大きなロスになるだろうという考えもある。  
その意味で、この時期を逃すのは非常にもったいないという思いがあり、あえて提案させていただいた。

普通学級生活指導補助員の配置による支援などの充実を図ってきた。  
これらのことを課題としてとらえ、教育委員会の重点目標や具体的施策に反映させ、今後も改善実施に取り組んでいく所存である。

の食に関する意識づくりは最重要だが、教育現場における食育の取り組みをお聞きしたい。

## ■地域の特色や人材を生かした取り組み

**答弁** 各学校では、地域の方々と関係機関の御協力をいただき、地域の特色や人材を生かした取り組みを行っている。例えば生産者の方々との農業体験、郷土料理などをつくって味わう実感を伴った授業や栄養教諭などの指導、給食の献立に郷土料理や行事食、他国の料理を加えるなど給食の時間も食育の実践の場とする取り組みも行っている。  
また食育だよりの発行、夏休み親子料理教室、保護者対象の給食試食懇談会など食育の啓発に努めている。

**その他質問** ◆安心・安全なまちづくり／文化会館等の改善

**その他質問** ◆地域コミュニティと地区公民館の役割／まちづくり推進センター

# 子宮頸がん教育

質問 田中 稔議員

子宮頸がんの患者は20〜30歳代に多く、全国で毎年数千人の子育て真っ盛りのお母さんが亡くなっている。また、子宮頸がんは、HPVが原因と究明されており、ワクチンの接種と定期的な検診で予防できるといわれている。

日本においては「子宮頸

がん」の発症率は増加の傾向にある。この原因には社会通念の変遷が言われているが、対抗する教育が必要だ。というのも、HPVは性感染症であるからだ。セクシャルデビュー前の中学生を対象とした的確な性教育の徹底とワクチンの接種は不可分のものと考えているが、教育委員会の見解を尋ねる。

■ ワクチン接種前に生徒や保護者に対して啓発

答弁 ワクチン接種を年度内に中学1年生を対象とし

# 就学援助の認定基準の改善を

質問 尼寺省悟議員

就学援助の認定基準の変更、特にあいまいな5項目を具体的な収入基準への変更ができないのか。そうすれば保護者にも制度の輪郭が明確になり、申請しやすくなる。また法的根拠を失った民生委員の記入欄の廃止もでき、民生委員の負担軽減にもなる。すでに多くの自治体が実施しているが、こ

■ 現在のところ考えていない

答弁 他市を調査する中で、所得額で認定している場合でも、民生委員の意見をお願いする場合としない場合がある。また毎年、民生委員に意見をお願いしている、そういった各市の就学支援の申請手続きの対応は異なっている。また、家庭の経済状況も日々変化することもある。申請者の経済的事務を適正に把握する必要もある。このようなことから、民生委員の意見については、引き続き慎重に検

討したい。

# 公共建造物の長寿命化計画、対策は

質問 太田幸一議員

上水道施設設備の劣化・耐震性能の現状と長寿命化計画及びその対策について問う。

■ 財政バランスを考えながら検討したい

答弁 各施設の耐震診断結果については、土木施設の

その他質問 ◆ 新年度予算、市長公約

# 飲食物持ち込み自由化を

質問 成富牧男議員

旧とりごえ荘（現在、栖の宿の一部）が直営から指定管理者になり、飲食物の持ち込みが禁止されて以降、利用者が大きく減少している。要因の一つと考えるの

であれば、元に戻して、持ち込み自由にすべきでは。指定管理者制度のもとでは許されないのか。

■ 利用者に満足いただける施設運営に努めたい

答弁 飲食物の持ち込みを御遠慮いただいていることに対し利用者の方々から御意見をいただいていることも承知しているが、一方で食事の提供を喜んでおられる利用者の声もいただいております。サービシ的には向上していると考えている。

指定管理者になったから法的にできないということではない。さまざまな御意見をいただいているが、市と指定管理者が協力して利用者に満足いただける施設運営に努めたい。

その他質問 ◆ ひとり暮らしなどの高齢者世帯の見守り／子ども・子育て新システム

安楽寺取水門、建築施設の浄水場送水ポンプ棟を除き、土木・建築建造物のほとんどの施設において耐震性能を上げる必要があるとの結果になっている。



安楽寺水源地（取水施設、導水施設）

しかしながら、これらの施設を耐震化しても施設の耐用年数は変わりなく、老朽施設を更新するのか、耐



# 平成22年議会活動状況

- 定例会—4回 ■臨時会—2回 ■会期—81日
- 本会議—28日〔議案審議、一般質問12日  
(延べ質問者数64人)〕
- 委員会—総務13日、建設12日、  
文教厚生18日、経済14日、  
管外視察、総務、建設、文教厚生、経済各3日、  
委員会協議会、総務1日、文教厚生2日
- 議会運営委員会—26日  
〔会期中11日、閉会中15日、管外視察3日〕
- 特別委員会—水道事業決算4日、決算5日、  
総合計画基本構想1日
- 全員協議会—1日
- 付議事件—130件  
〔市長提出101件、議員提出23件、その他6件〕
- 議決結果—原案可決89件、否決8件、  
認定10件、同意5件、異議なし1件、  
許可1件、選任4件、継続審査12件
- 本会議傍聴—延べ228人

## ダム使用権の会計問題と 水道事業広域化について

質問 江副康成議員

鳥栖市水道事業会計決算書によれば、ダム使用権として15億8千万円無形固定資産に計上されているにもかかわらず、当初より現在に至るまでなんら減価償却されていない。不適切な会計処理ではないのか。また、佐賀東部水道企業団及び福岡県南広域水道企業団と水道管を接続する等の広域化の検討もすべき時では。

■近隣自治体との連携は重要だと認識している  
 答弁 将来の安定した水道事業の経営のために資産価値を把握し、適正な会計処理を行っていくことは当然重要なことと考えており、今後どのような会計処理が水道事業として適切なかの調査研究したい。

また、現在、老朽化した施設の更新のため水道施設整備計画を策定することとしている。この計画においては、施設の安全性を高めることはもちろん、バックアップ体制の強化も大きな課題である。このため、近隣自治体との連携は重要なものであると認識している。

◆新鳥栖駅を中心としたまちづくりと問題点／市長退職金廃止

## 平成21年度決算を認定

今定例会では、閉会中の継続審査となっていた平成21年度の決算関係10議案について、決算特別委員長と水道事業決算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、審議の結果、一般会計と水道事業会計は賛成多数で、そのほかは全会一致ですべての決算が認定されました。

## 決算特別委員会 審査報告概要

審査の過程で各委員から、流用及び不用額、市税の徴収率の向上、障害者自立支援、中学校給食、ミニバス運行実証などについて多くの質疑がありました。

また各委員から、住民福祉や教育に対する適切な財政運営、不納欠損や収入未済の対応、民生委員の活動内容が複雑・多様化し役割も重要になってきているため、国、県への法の抜本的な改革の働きかけ、中小企業や商店街の景気対策としての融資制度拡充やプレミアム商品券の通年化などを要望

## 水道事業決算特別委員会 審査報告概要

審査の過程で各委員から、水道事業については、補正予算と不用額の内容、給水の危機管理対策と給水タンクの有効活用、施設の更新計画と財政計画などについて質疑があり、下水道事業については、補正予算の内容、中期財政計画の策定、

しました。

下水道使用料のあり方などについて質疑がありました。また総括の中で、水道事業経営に対し適宜な利益還元への努力、人事管理上適切な水道技術管理者の任命、新幹線トンネル湧水の有効活用、ダム使用権取得に伴う負担軽減要望活動、水道ビジョンの推進や決算を平成23年度の予算に反映させることなどを要望しました。

## 11月臨時会

11月29日に開かれた11月臨時会では、国家公務員の給与改定に準じた条例の一部

改正案が審議されました。提出された3議案は、総務常任委員会に付託された後、本会議において原案のとおり可決されました。

## 11月臨時会の付議事件と議決結果

市 長 提 出 議 案	件 名	議 決 結 果
市職員の給与に関する条例等の一部改正 〔国家公務員の給与改定に準じ、給与を改定するもの〕	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決(賛成多数)
市長及び副市長の給与と条例の一部改正 〔国家公務員の給与改定に準じ、期末手当を改定するもの〕		原案可決(全会一致)

